



2025年6月オープン

旧区役所跡地に待望の新図書館！

40階建て集合住宅、スーパーなどと複合開発

杉田市議が歴代市長に働きかけ実現



◆十三が人々の行きかう一大拠点に◆

旧淀川区役所跡地の再開発がいよいよ始まります。2025年6月オープンの予定で地域の人に開かれた「交流型ワイガヤ図書館」や40階建て集合住宅、スーパーマーケットなどが集まる複合開発が進められます。「新図書館を建設してほしい」との地域の皆様の声を受け、杉田忠裕市議は交流拠点としての十三のまちづくりを歴代市長に働きかけていました。

再開発は旧区役所跡地など市有地や隣接する民有地に図書館や保育・学童施設、高層マンション、スーパーが入る複合施設棟、阪急電鉄の線路沿いの民有地に専門学校が入る学校施設棟で構成されます。複合施設棟は25年6月、学校施設棟は22年1月から使えるようになる予定です。



2009年3月に現在の庁舎へ移転して以来、旧区役所跡地は手つかずの状態でした。跡地を単に売却して再開発をしようとした大阪市に対し、杉田市議が地域に役立つ施設として図書館の誘致を前提条件とするよう求めました。さらに、市会でたびたび市の取り組みに時間がかかりすぎている点を問いただし、1日も早い実現に向けて後押しをしていました。

大阪市会での杉田市議の主な発言

2012年6月 財政総務委員協議会

佐賀県武雄市の新図書館構想のように、民間ノウハウを活用し市民サービスを向上すべき、と指摘。市は利便性向上や経費節減などの観点から個々の施設で事業者の裁量を認めるよう検討する、と答弁。

2013年11月 決算特別委員会

本を借りたいという人以外も集客できる図書館づくりを目指すべき、との問いに橋下徹市長（当時）が、民間とのコラボによる魅力ある図書館づくりについて今後とも検討を進めるよう、教育委員会に対してしっかりと要請する、と答弁。

2017年3月 財政総務委員会

市民が交流できる場所を十分に確保した図書館を実現すべき、との問いに吉村洋文市長（当時）が、幅広い世代の人たちが旧区役所跡地に集まり、図書館が整備されることを強力に後押ししていく、と答弁。

2018年3月 財政総務委員会

新しいタイプの図書館整備を前提とした一体開発が大阪市全体の活性化につながると指摘、淀川区長がにぎわいのあるまちづくりや子育てしやすいまちづくりを前進させる、と答弁。

2018年5月 財政総務委員会

新図書館整備に向け関係局が力を合わせて公募を実施し、目に見える形で事業を始められるよう強く要望。



旧区役所跡地再開発の今後の予定

2020年6月	再開発事業者が決定
21年4月	旧区役所解体開始
12月	複合施設棟、学校施設棟着工
23年1月	学校施設棟オープン
24年3月	複合施設棟竣工
25年6月	図書館、スーパー、 保育・学童施設などオープン 分譲集合住宅引き渡し